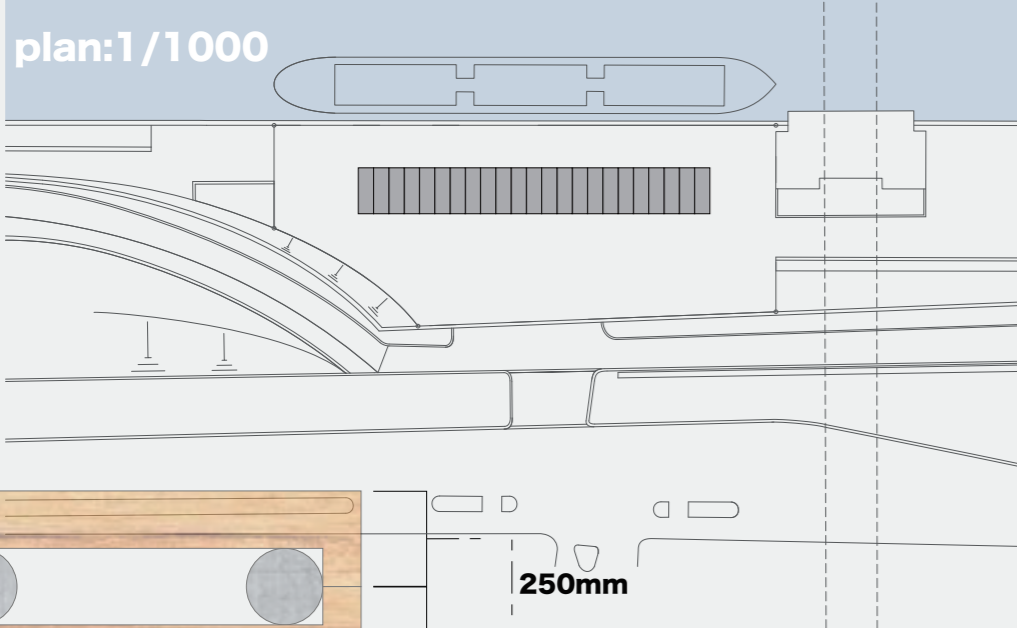


# GYRO

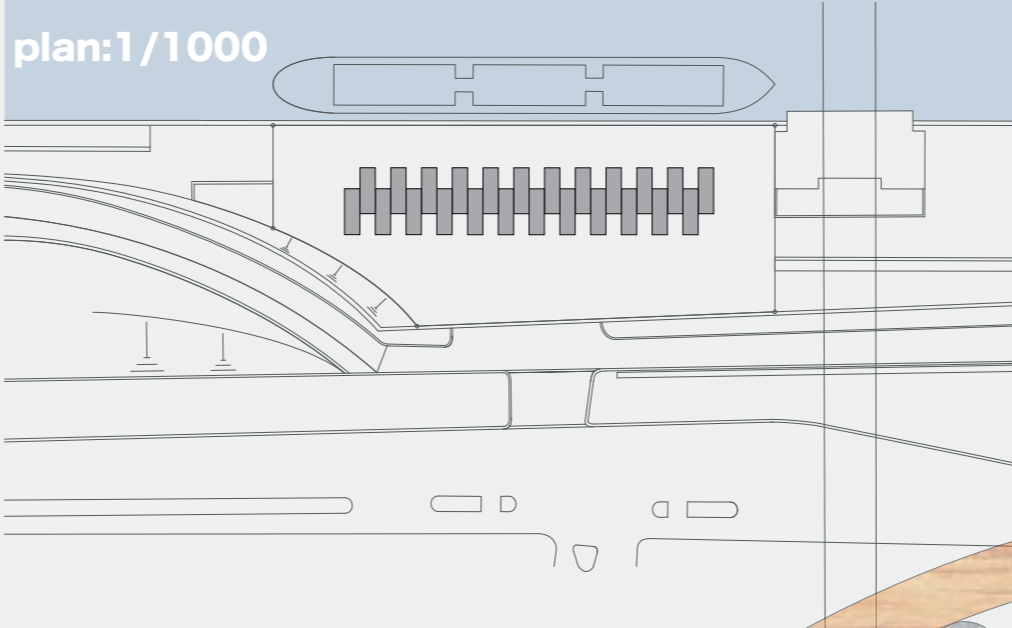
ハンドスピナー等に用いられるベアリングを参考に居住空間を設計する。  
 21世紀の今日、感染症から逃れるためのアジールを設計する必要性を感じた。  
 しかし、従来の隔離宿泊施設では交流は生まれず、社会からの孤立を加速させてしまう。  
 簡単に連結でき、宿泊者同志のみで展開・分散が可能なモバイルアーキテクチャーを提案する。



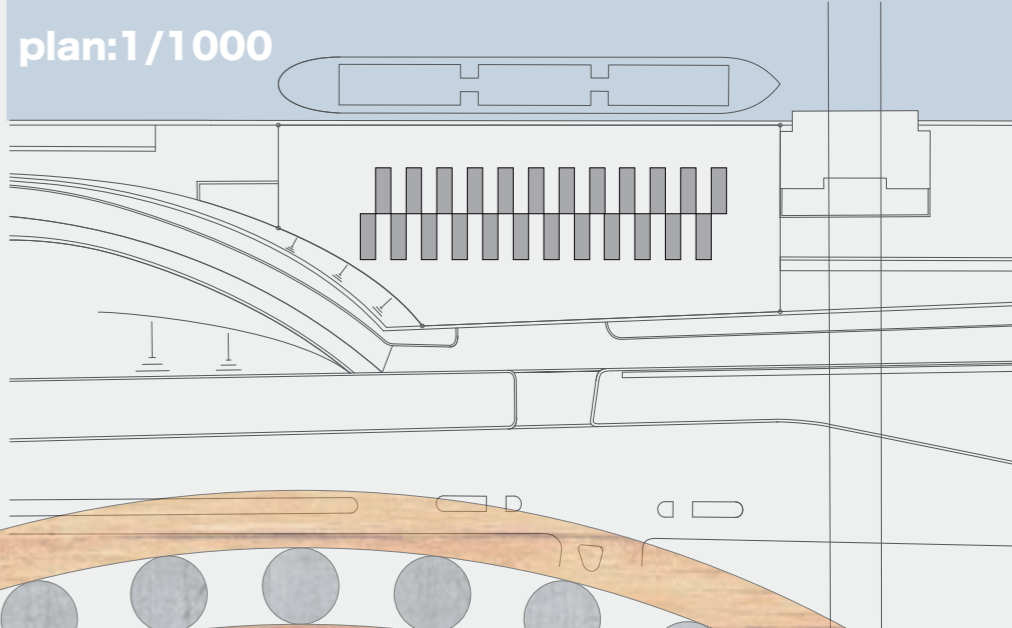
plan:1/1000



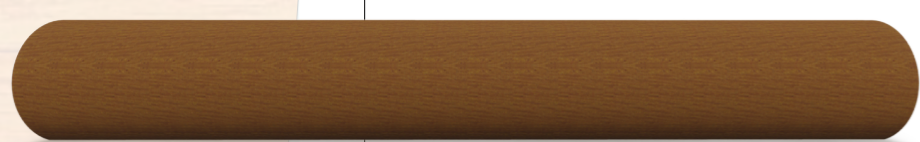
plan:1/1000



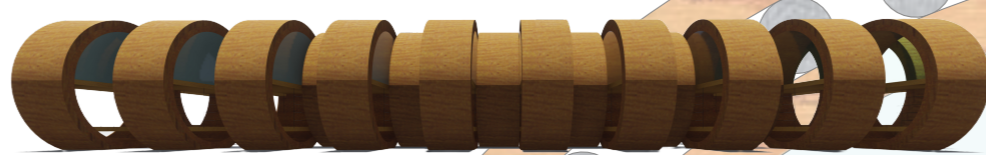
plan:1/1000



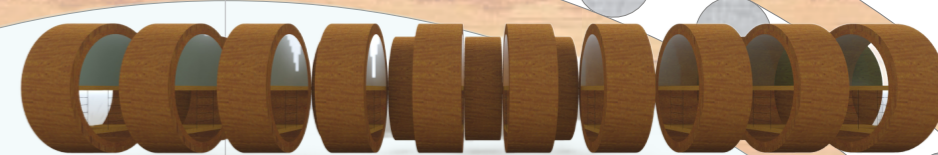
250mm



一続きに並べて配置



半分ずつずらして配置



1つ分ずらして配置



3000mm

200mm

俯瞰パース

外側の壁が回転するのに対し内側の壁は上下を保ったまま移動できるように、居住空間の1階部分に重心が掛かるように設計をする。



200mm

様々な形態に居住者や利用者が動かして、簡単に展開することを可能である。  
 天気の良い昼間は、自分たちで転がしていき換気のできるプライベート空間を確保する。  
 寒い夜は連結し、温度が逃げないように一体となる。  
 少しずつずらして配置すれば、広場空間を新しいサードプレイスに変化させる。

固定用に止めることができるストッパー。

250mm

250mm

sectional detail:1/20

